

大曲とふるさと

首都圏大曲会会報 第2号

平成18年11月発行

首都圏大曲会事務局 FAX 03-3811-7693 澁谷一男税理士事務所内



話がはずめば乾杯の繰り返し（帝国ホテルにて）

引き続き懇談会に入った。出席された来賓の方々からそれぞれご挨拶を頂いた。大仙市長栗林次美氏、衆議院議員田勝年氏の三名の諸氏。次に、来賓の紹介が一人ずつ行わ

れ、大仙市議会副議長佐藤孝治氏の発声で乾杯。引き続き賑やかな懇親会に移った。

地区ごとのテーブルでは久しぶりの元氣な再会に話が弾み、懐かしいふるさと談義に花が咲いた。今年は大曲中学校各年次の卒業生代表が出席をされた。今後の活躍に期待できるメンバーである。

恒例のビンゴゲームが始まり、昨年同様、地元多くの企業や商店から数々の景品を提供頂き、約一時間、会員は豪華商品を手に入りに喜び、楽しんでいった。なお、大仙市役所の御好意により景品の案内や提供企業名を掲載したパンフレットや、今年初めて発行した「首都圏大曲会総会特別号」を出席者に配布して好評を得た。

また会場入り口では、内小友地区など地元生産者が漬物や新鮮な野菜を販売した。懐かしいふるさと味の求めて、予約をしないと購入できないほどの人気だった。今年のお土産は大仙市からは「有機肥料使用こだわり米」の消費拡大事業推進の一環として「アキタコマチ」を、また小玉醸造株式会

社から特別に地酒カップと特選味噌を、そして秋田民報社からは最新号の新聞のご提供を頂いた。なお会場では、昨年から始めた地元物産の通信販売に関するアンケートをお願いし、多くの方々から協力頂いた。今後の運営に生かしていく予定である。

最後に副会長大友律子が挨拶し、会は盛会裏に終了した。

大仙市誕生二年目。恒例の「首都圏大曲会総会」が開催された。今年も栗林大仙市長を初め、衆議院議員御法川信英氏、参議院議員金田勝年氏らの出席を得た。

地元からは大仙市助役久米正雄氏、教育委員長三浦憲一氏、市議会副議長佐藤孝治氏、市議員杉浦千恵子氏・橋村誠氏・石塚柏氏、大曲商工会議所会頭高柳恭侑氏、秋田おぼこ農協大曲市支所担当理事池田正孝氏。秋田県東京事務所所長佐藤紀一氏、首都圏ふるさと懇話会各代表も出席した。

会は大曲花火大会オープニングソング「夢の空」のBGMが流れ、その後十五分間、平成十七年度開催の「全国花火競技大会」の様子をDVDで放映した。出席した会員の方々は今年もまた東京で大曲の花火を観ることができた感慨深げだった。

第17回首都圏大曲会総会開く

豪華な景品 ビンゴで盛り上がる！

首都圏大曲会副会長 大友 律子

◇開催日時

平成18年7月13日（木）

午後6時から9時まで

◇場所

帝国ホテル「光の間」

◇出席者 一一〇名



株式会社 嶋田ハム

代表取締役 嶋田耕治

〒014-0016 大仙市若竹町26-23

TEL (0187) 63-1576

FAX (0187) 63-1578

おおきなせなかに夢を乗せ

大仙市総合政策課長

小 松 辰 巳

大仙市が誕生して1年7ヶ月余がたちました。そこで大仙市はこの10月1日に「大仙市誕生1周年記念式典」を、各首都圏ふるさと会の代表の皆様にもご出席いただき挙行いたしました。

式典では大仙市の花「コスモス」、木「ケヤキ」、鳥「カワセミ」、ならびに大仙市民の歌「夢、この大地」を披露しました。花びらが8枚で構成されるコスモスは、8つよりなる市町村が一つの輪（大仙市）となったことを象徴します。他を圧倒して天高く伸び、枝を広げるケヤキは、伸びゆく大仙市の将来像をイメージし、カワセミは自然環境豊かな川の町を象徴するものです。

大仙市民の歌（右上に掲載）は、老若男女誰もが気軽に歌える優しいメロディーで、大仙市のホームページにも掲載しております。機会がありましたらご覧いただきたいと存じます。大仙市は一步一步新しい市を構築してまいります。ふるさと会の皆様のご支援を今後ともよろしくお願いいたします。

◆この夏内小友地区では、螢の鑑賞会が好評でした。市ではこうした住民活動の拠点にと、行政と住民のみなさんが協力し合って自然観察小公園を整備しています。◆今年も雄物川には日本海から、サケが産卵のために遡上しています。花館地区では、サケにまつわる文化を見直すところ「サケ汁試食会」や、鹿兒島大学から講師を招いてシンポジウムを開催しました。◆角間川地区では昔ながらの川魚料理を復活させようと、雄物川大清掃と川魚料理試食会のイベントを開催しました。

大仙市民の歌

「夢、この大地」

1
緑あふれる この大地
けだかくそびえて 鳥海山
おおきなせなかに 夢をのせ
未来に羽ばたく 若い街

2
生命はぐくむ この大地
豊かに流れて 雄物川
夜空に舞う華 美しく
こころふれ合う 夢の街
*未来Ⅱあす 生命Ⅱいのち

平成17年度会計報告 (H17.5.1～18.4.30)

(収入の部)		(支出の部)	
前年度繰越分	153,160	総会費	1,245,750
年会費収入	204,000	会議費	44,488
総会費収入	1,400,000	交通費	56,100
雑収入	928	通信費	77,020
		諸印刷費	46,000
		ふるさと会参加費	50,000
		消耗品費	59,049
		雑費	14,290
合 計	1,758,088		1,592,697
		収支残高 165,391円 (次年度繰越金)	

平成18年度事業予算 (H18.5.1～19.4.30)

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越分	165,391	通信費	70,000
年会費収入見込み		交通費	50,000
(@1,000円)	200,000	総会費	1,100,000
総会費見込み		事務用品費	60,000
(@10,000)	1,100,000	ふるさと会参加費	70,000
		予備費	115,000
合 計	1,465,391		1,465,391

この時点で市からの助成金は含まれておりません。

◇ 会費納入のお願い ◇

平成18年度の総会が賑やかに開催され、新年度としての活動が始まりました。私たちのふるさと大曲を、もっともっと身近に感じていただくために、幹事会ではいろいろな案を創出しては検討を重ねています。会運営は大仙市からの助成金（年間15万円）と会員の皆さまからの会費（一家族年間千円）によって運営されます。この会報とともに振替用紙を同封いたしますので、未納の方はお早めにお振り込みくださいますようお願いいたします。（会計担当）

ふるさと大曲の話題から

☆☆☆☆☆

ふるさとの「湯っこ」は

あなたのお帰りを
お待ちしております



乳頭温泉郷で2本の源泉

金の湯、銀の湯

乳頭温泉郷 妙乃湯

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1

有限会社 妙乃湯

電話 0187-46-2740 Fax 0187-46-2207



抱返り溪谷の懷に

昨年8月、リニューアル オープン

夏瀬温泉 都わすれ

〒014-1201

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84

電話 0187-44-2220 Fax 0187-44-2219



＜大曲の味・ふるさとの味＞
 “互いに顔の見える
 関係づくり”を大切に

大仙市農林振興課 西村とも子

毎年帝国ホテルで開催される大曲会総会の物産即売会は、参加者にご好評をいただき嬉しく思います。準備しながら何か新しい試みをと常に考えるのですが、今年は「試食コーナー」を設け、パック入りの茄子・胡瓜・ミズの漬物を提供して喜ばれました。子どもの頃の母親の味を思い出したと、わざわざ声をかけてくださる人もいました。矢張り漬物の味はおふくろの味、懐かしい子ども時代がよみがえり、ふるさとが一気に近づいた感動を味わう人も多かったようです。

◇

最近各地では、地域で生産された農産物を、地域で消費する「地産地消」の取組みが盛んです。食の安全安心を求める消費者と、安全な農産物を責任と自信を持って提供する生産者の、“互いに顔の見える関係づくり”が推進されているのです。大仙市でもこの取組みは進められています。首都圏大曲会での試みは、まさしくその一つのイベントです。

◇

それは大曲会のみなさまの生の声を聞き、そのまま地元生産者との距離を確実に近づけることが出来るからです。昨年から始められた「ふるさと便」をより身近なものとしてご利用いただき、更に定着するよう私たちも努力してまいります。懐かしい味、ホンモノの大曲の味を提供できるよう、地元生産者と取組んでまいります。



表彰式に参列したみなさん。前列左から3番目が大曲商工会議所高柳会頭

大曲の花火（全国花火競技大会）

サントリー地域文化賞を受賞

長年にわたる文化向上への貢献が認められて

大曲の花火（全国花火競技大会）が、財団法人サントリー文化財団の主宰する「第28回サントリー地域文化賞」を受賞しました。八月二日、東京・溜池の全日空ホテルで開催された授賞式に、首都圏大曲会会長宛招待状が届いたので、大変晴れがましく出席してまいりました。

サントリー文化財団は、国際化、情報化、高度大衆化社会の時代に応えて、それを支える学術研究の育成、文化活動の振興ならびに国際理解の推進への寄与を目的に、この賞を授与しています。そこでこの趣旨のもと、毎年、地域文化の向上に顕著な貢献をした個人・団体を表彰し、今年で二十八回を重ねます。

今年は大曲の花火の他に、岡山県倉敷市の大原美術館「美術館ギャラリーコンサート」など五つの団体を選ばれました。特に大曲の花火については「明治43年、地元諏訪神社祭礼の余興として始まった花火大会は、その後全国花火競技大会と名を

変えて今年80回目を迎える。雄物川の広い河原と水面を舞台に、川向こうに連なる出羽丘陵と大空を背景にして、全国から選抜された花火師が、アイデアと技の粋をこらして制作した花火を、自らの精魂を込めて打ち上げていく。

二〇〇五年の市長村合併により大曲市は大仙市となったが、『大曲の花火』の名は変えずに引き継がれた。花火を愛する市民が伝統をしっかりと守りながら、絶えざる革新を進める『大曲の花火』は、これからも日本の花火の新しい歴史を切り拓いていくにちがいない」と、授賞理由を格調高く説明されていました。

大曲からは受賞団体として、大曲商工会議所高柳恭侑会頭を初め、塩谷専務理事ほか関係のみなさんが参列し、大勢の出席者から祝福の拍手を浴びていました。

（大釜）

◆日本の映像文化を育て・守る

（社）日本映画俳優協会

理事長 池部 良 事務局長 石濱 朗

〒171-0014 東京都豊島区池袋3-30-8-202

TEL&Fax03(5391)4651 <http://www.eihaikyo.com>

理事 司葉子・久保明・藤村志保・高野信二・岩下志麻他

会員 浅丘ルリ子・淡島千景・池内淳子・岡田茉莉子・岸恵子他



大曲商工会議所

会頭 高柳 恭侑

〒014-0027 大仙市大曲通町8番50号

TEL 0187-62-1262 FAX 0187-62-1265

URL <http://www.obako.or.jp/kaigisho/>

久しぶりだな！が 合い言葉

18年度 首都圏大曲会総会のスナップから



期待に胸膨らませて参加する会員たち

歌に、ビンゴに
お土産もどっさり



開会の挨拶をする
首都圏大曲会
大釜茂璋会長

花火大会の映像で始まった今年の総会は、参加した人々にとってそれは一気に郷愁を呼び、まさに「大曲の人」になっていました。さすがに大曲は花火の町。繰り広げられた川原の熱気が、そのまま会場内に伝わってくるように感じた人も多かったようです。歌あり、お馴染みのビンゴあり。広く県内から寄せられたご好意の景品も豪華で、帰りのお土産は、酒にお米に特選味噌。まさしく秋田県特産3点セットでした。



これはこれと花館地区のみなさん



大仙市各地区ふるさと会の代表も

乳頭温泉郷

黒湯温泉

〒014-1201 仙北市田沢湖生保内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214 FAX 0187-46-2280

平成18年秋田県酒造品評会

◆純米酒の部 知事賞首席受賞
◆吟醸酒の部 知事賞決席受賞
雪蔵 銘醸 出羽鶴

◆純米酒の部 醸造試験場長賞
杜氏 佐藤賢孔

◆吟醸酒の部 醸造組合長賞受賞
◆純米酒の部 醸造組合長賞受賞

銘酒 佐統の 刈穂

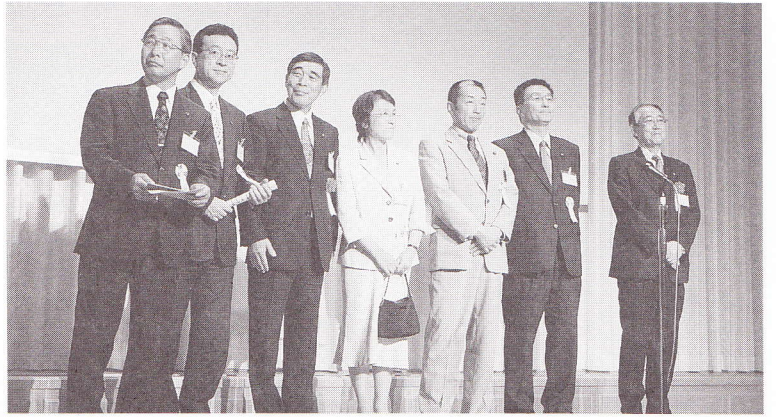
杜氏 齋藤泰幸
秋田酒造株式会社
大仙市地谷字天ヶ沢八三二
電話 〇一八七六三一二三四
http://www.igcta.jp/

※お酒は二十歳以上から。お酒は楽しく飲みましょう。

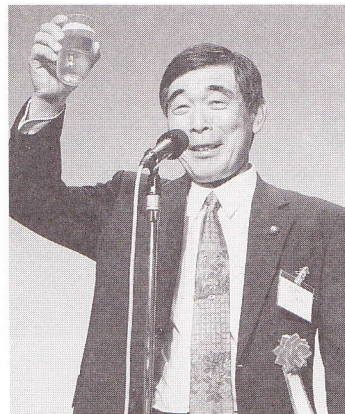


力強く挨拶をする栗林市長

地元大曲から参加したご来賓のみなさん



映画俳優の石濱朗さんも特別参加



乾杯の発声（佐藤市議会副議長）

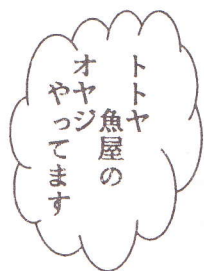


東京で活躍する大曲出身の歌手
富士琴美さん（左）、千葉とし子さん（右）



閉会の挨拶をする
大友律子副会長

懇親会では、それぞれの
テーブルで楽しく談笑する
会員たちの輪ができました



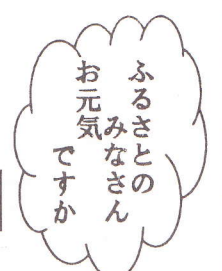
“魚と遊んで遊ばれて”

本 社

新木場工場

新砂工場

ビル事業部



〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目8番5号 電話03-3640-6411(代) FAX03-3644-5832

おかげさまで
創業45周年
45th
21世紀へ



東京水産工業株式会社

代表取締役社長 佐藤 重 光

大仙市誕生一周年

記念式典に参加して

千名の市民が集い発展を誓う



首都圏大曲会会長 大釜茂璋

大曲・仙北八市町村合併による田園交流都市大仙市が誕生して、早いもので一年七か月が経過しました。私自身、大曲という土地の名称に強い愛着を持っていたこともあり、なかなか大仙市に馴染めずにはいましたが、ようやくこの頃になって気にならなくなりました。慣れてくると、大仙市という呼び名にもどこことなく愛着を感じるものだと、最近はこの名称に愛

おしさすら感じるようになっていきます。

ときあたかも十月一日午後二時から、「大仙市誕生一周年記念式典」が大曲市民公会堂で挙行されました。大仙市は、首都圏で活動する各ふるさと会にも招待状を送り、大仙市に関わる人々みなでお祝いをしようという、温かい心遣いを示してくれました。



＜記念式典プログラムを飾った表紙の絵＞

「みんなが仲良し 大仙市」

北神小学校 齋藤美加さん

爽やかに晴れあがったこの日、こまちで盛岡から田沢湖線に入ると、沿線にはまだ夏の名残を感じました。大曲駅で車を拾い「公会堂へ」と告げると、「お客さん、今日公会堂で何があるのですか」と運転手さん。大仙市誕生一周年祝賀式典ですと、案内状から受け売りの知識で

応えると、さっきから何人も運んだんです、東京から参加ですか、ご苦勞様ですと、優しい挨拶が返ってきました。大仙市のイメージが、着実に市民の間にも定着していることを感じました。

公会堂は三階までほとんど満席。千名近い市民の参加で熱気むんむん。式典は、首都圏大曲会前会長棟方宏一さんの司会で定刻に開始されました。

栗林市長を初めとする市の幹部、県出納長や国会議員・県会議員、隣接する美郷町町長や仙北市長、神奈川県座間市の星野市長も来賓として参加していました。各首都圏ふるさと会からも代表が参加し、大仙市が八市町村の合併によって誕生した市であることを、如実に物語っていました。

栗林市長は祝辞の中で、「誕生以来、それぞれの地域の声が行政に届く仕組みの確立に務め、市民一体となったまちづくりに取り組んできた。今年三月には市政運営の基本となる大仙市総合計画を策定し、大仙市将来の都市像である「人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市に」向かって着実に歩みを進めている」と、力強く述べていました。

式典第二部は、本紙2頁で総合政策課の小松辰巳課長が紹介しているように、大仙市の「花・木・鳥」とともに、「大仙市民の歌 夢、この大地」が披露されました。

それぞれの制定には、新生大仙市に託す全市民の思いを強く感じるものでした。特に市の花コスモスには、その可憐さ、清涼感もさることながら、八枚の花びらから八つの市町村の結束と強い友情の絆を感じ取られました。大空を被うケヤキの木の力強さ、清流の寶石に例えられるカワセミの清潔感と、獲物をねらった時の俊敏さと逞しさは、まさに未来へ向けて力強く飛翔する大仙市に相応しいものであり、勇気づけられました。祝賀式典はその後、旧市町村の歌が、それぞれの地区の人々によって紹介されました。各地区の願いやシンボルを織り込んだこれらの歌を聞いていると、この歌詞、この旋律が、そこで生活する人々に勇気を与え、地域を愛する感情を育んできたのだと、胸にじんわりと迫る熱い感動を覚えしました。記念式典は午後四時、参加者それぞれの心に深い感銘を残して盛況裡に終了しました。



e-pros フォーラムで話題を呼んだ

若手教師たちの英語指導アクティビティー

■授業を活性化して授業力を高めるパフォーマンス

Rainbow project

◆特価で近日中頒布予定 (DVD+B5判 92ページの資料付)

取扱い先 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-17-304

NPO 法人教育情報プロジェクト

Tel 03-5213-2028 Fax 03-5213-2029 info@e-prosjp.com

http://www.e-prosjp.com

澁谷一男 税理士事務所

税理士 澁谷 一男

〒113-0033 東京都文京区本郷1-21-7-601

TEL 03-3811-0326 FAX 03-3811-7693